

銚子ジオパーク市民の会 ニュース

屏風ヶ浦 (銚子市)

第112号

2021年5月13日発行
発行責任 工藤 忠男
銚子ジオパーク市民の会

URL : <https://choshigeopark.com>



4月、文化財・ジオパーク室に異動がありました
新旧の室長さんからご挨拶をいただきました

前室長 小川正俊

4月から観光商工課へ異動となりました。これまでの5年間、皆様の多大なるご支援のおかげでなんとか務めることができました。

思い起こせば12年前、平成21年に千葉科学大学の安藤先生とお会いしたのが私のジオパーク活動のスタートでした。

坂本先生や工藤さんら有志が集まっては、どんな活動を展開すべきか熱く議論を交わしたことを思い出します。

当時、私は観光商工課に所属しており「銚子の地層探検ツアー」を企画し実施したところ、県内各地から42人ももの参加がありジオパークへの関心の高さに驚きました。

平成23年2月には銚子ジオパーク推進市民の会が発足し、市民向けジオパーク基礎講座やガイド養成を目指した

マスター講座など多数の活動を積み重ね、遂に平成24年9月には日本ジオパークに認定されました。

この5年間では、2度の再認定審査や台湾の野柳地質公園との友好協定締結、林野庁との君ヶ浜国有林(ジオパークの森)の協定締結、ビクターセンターとミュージアムの移転、日本第四紀学会の開催、防災ジオツアーの実施、2人の専門員の正規職員化など様々な出来事がありました。

今後は市民の会の一会員として活動に関わってまいりたいと思います。皆様には引き続きよろしくお付き合いください。また、当室にはジオパーク

令和3年度から文化財・ジオパーク室長となりました。どうぞよろしくお願います。

新室長 赤塚弘美



令和3年度から文化財・ジオパーク室長となりました。どうぞよろしくお願います。

認定を目指していた際、本業務を担当していた齊藤さんが今年度文化財班に着任しました。また、中村さんも昨年度から在籍しています。そこで、今年度からは文化財班とジオパーク班が連携して、銚子ジオパーク事業に取り組んでいくことにしました。

このような当室の業務運営にもご理解をいただき、銚子市らしく持続的にジオパークが機能する運営方法を検討していきたいと考えています。

昨年度行われた日本ジオパーク再認定審査の結果報告では、銚子ジオパーク市民の会の活発な活動が銚子ジオパークを支える原動力になっていることが改めて評価されています。

さらに、これまでの活動に共感した事業者等との関りも増えつつあります。

今後も各種事業への協力を願います。より多くの方々にジオパーク活動へ関心を寄せてもらえるよう取り組んでいきたいと思えます。

今年度も各種事業への協力を願います。より多くの方々にジオパーク活動へ関心を寄せてもらえるよう取り組んでいきたいと思えます。

ジオパーク講座を聞いて

銚子の素晴らしさを

子ども達と楽しみながら

学んでいきたい

深澤 寿賀子

銚子へ移り住んで早8年、この恵まれた自然環境に日々癒されています。

現在、年長さんの息子は近所を散歩するだけで楽しい発見が沢山あるようで、よく一緒に散策に出かけます。そんな銚子について、今回初めてしっかりと学ぶ機会を得ました。

屏風ヶ浦や犬吠埼など、見目の素晴らしさはもとより、地球誕生や恐竜が生きていた時代から脈々と続く大地の営みを感じられるロマンたっぷりな銚子ジオパーク。

地質学的なことは、一度の講座では理解しきれないボリュームで。(汗)

人間の感覚では計り知れない程長い年月をかけて出来上がったこの大地の奥深さを、

ここで生まれ育つ子供達が学び、誇りに思ってもらいたいと思いました。

イルカウォッチングは幼児も乗船できるコースがあるので、機会をみつけて行ってみたいなど。

南の島へ行かずとも、銚子沖でイルカが見られる！ことを知っている人はどれ位いるのでしょうか？ 野生のイルカ・クジラが見られるのは、かなり魅力的です。

今回の講座での糟谷先生の話が面白かったので、是非一緒に君ヶ浜界隈を散策し、食べられる美味しい野草を教えてくださいたいと思えます。(笑)

これからも子供達と、この自然環境に触れつつ、魅力あふれる銚子ジオパークを学んでいきたいと思えます。

